

社会医療法人清恵会 清恵会医療専門学校 清恵会第二医療専門学校

2018年度 自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

評価対象期間 自：2018年4月 1日
至：2019年3月31日

清恵会医療専門学校	第1看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	第2看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
清恵会第二医療専門学校	准看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務副部長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	理学療法士科	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
清恵会第二医療専門学校	放射線技師科1部	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	放射線技師科2部	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
清恵会医療専門学校	全3学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	学院長、事務長
清恵会第二医療専門学校	全3学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	学院長、事務長

清恵会医療専門学院 第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を学生ガイダンス、ホームページ、学生募集要項に記載し、入学時だけではなく、実習ガイダンス等学生に周知するよう努めている。	教育理念、目的、育人材像は、養成所指定規則、ガイドラインに基づいて定められている。2022年の新カリキュラムでは、将来を見据え、社会のニーズに対応できる看護専門職の育成を強化する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を育成し100%の就職率を維持しているが、社会の変化に対応した専門職としての資質は十分ではない。	専門の知識・技術・態度を育成し、高い合格率、就職率は維持しているが、地域包括ケアシステムや少子高齢社会に対応できる育人材像を見直す必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念に掲げてある「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」を基盤に、専門職としての技術・知識・態度を修得できるよう、講義・実習の充実に取り組んでいる。	講義ではアクティブラーニングを導入し、実習ではリフレクシオンを重視し、発信力や思考力を高め、自ら学び続ける看護専門職の育成に努力している。今後は多職種連携教育など学校の特色を踏まえた教育活動の工夫が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムを見据えた教育内容の構成に取り組んでいるが、今後の大学化や4年制への将来構想は明確化されていない。	母体病院と連携し、少子高齢社会、地域包括ケアシステムを見据えた人材育成のあり方を検討中である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められている。月1回の運営会議を開催し、各学科に状況報告や理事会の報告、方針は共有している。	運営会議で運営方針が定められ、運営目標、事業目標の達成度について毎回報告を挙げている。運営会議での決定議案は、随時、教員全体へ伝達するようにしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められており、各学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へつなげている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められる。運営会議、科長会、教務会で、教員全員の周知を図り、それぞれの業績目標に結びつくよう、学科長が面接を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各学科教務部長、教務科長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	国家試験対策、業務改善、実習開発、広報などの委員会活動を実施し、年度末に委員会報告を行っている。教育の質向上に向けた伝達講習会を実施しているが、教員のラダー教育の整備は必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	学院長、教務部長、教務科長、教務主任、専任教員で構成し、各学年は担任、副担任で構成されている。教育理念・教育目標を達成できるよう、各領域ごとに指導体制が整うように教員の配置を行っているが、専門性は充実できていない。	規程の人員配置はされているが、新任教員が定着しない。学生の学力向上、社会人基礎力の強化に向けた人員の確保や教員の専門性を高める教育体制を整える必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針を編成している。学生には入学時、各年次において説明し周知を行っている。	教育理念に基づき、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、看護の統合と実践へと段階的に科目構成され、実施方針を定めているが、シラバスや指導要項は今後見直しが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則内規により、科目履修規定、評価点の基準を設定している。	修業年限に応じた教育到達レベルは明確にしている。教育到達レベルの評価においては、教員・学生が共有しやすい評価基準を見直しているところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、入学学生の状況にあわせた教育内容に取り組んでいる。月1回の学科会議を開催し、内容の検討を行っている。また、教科外活動の時間は学生の態度面や感性の育成を重視した内容としている。	教育目的、内容に沿って教育課程の編成が実施されている。今後はカリキュラム評価を行い、これからの社会に対応できる看護専門職の育成、本校の特色を表現した教育課程の編成に取り組む必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに内部・外部講師の共有を図っている。実習では設置母体との合同調整会議をもち意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、シラバスをもとに教育内容について積極的に交換し、効果的な教育に向けて努力している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。また、学年間の交流をもち学習の意識づけや専門職としての自覚を育成している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けて教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか明確にしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に規定された専任教員の配置数は確保できているが、すべての教員が看護師養成講習会の受講は終了していない。	看護教員養成講習期受講教員においては、随時講習を受講できるようにしている。規定数以上の資格・要件を備えた教員確保は困難な状況であり、配置人数の増員とより良い人材の確保が重要課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門性を高めるために1回/年の研修への参加を推奨している。また、教務会を開催し、資質向上への取り組みを行っている。研究授業への取組や実践報告を行ったが、業務過多のため、建設的な取り組みが難しい現状である。	業務改善による重複業務を整理し、教育力向上への時間の確保が必要である。また、教員経験年数と能力に応じた取り組みが課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価は行っているが、外部講師の授業評価の実施には至っていない。実習においては、中間評価により後半への課題の明確化を行い最終評価に繋げている。	外部講師の授業評価を導入する。また、自己点検・自己評価により、本校の教育内容の現状の把握と課題の明確化が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則に基づき、規定の出席率を満たした者が学科試験・実習評価を受け、一定の評価以上で単位認定を行っている。実習においては、学科会議にかけ、評価の判定を行っている。	単位認定が困難な学生に対しては、事前に保護者に連絡し面談を行っている。成績に関しては、学生管理となっているため、単位取得状況も含めた成績状況を保護者にも知ってもらう必要がある。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次には協同学習・ボランティア発表を行い、各学年とも実習終了後の報告会では教員も参加し、学びの共有・成果の把握をしている。	現行を継続していくが、発表内容・方法は報告会ごとに検討していく。該当学科教員が参加しているが、他学科教員の参加により客観的な評価を得る機会も必要である。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の習得が目標であることは、入学時ガイダンスから始まり各実習ガイダンスで意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	1年次の講義で習得した知識が発展的かつ継続的に積み重ねられておらず、断片的な学習になっている点が課題である。1年次からの主体性を引き出すかわわりを検討したい。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的な位置づけになっている。国家試験担当が年間計画を立て明確化し支援している。学習面において受け身の学生が増えている。	受け身の学生が多くなっているため、基礎的知識の定着のためには教員主体の学習支援から始め、自学自習に移行できるような計画を検討する。既卒生に対する学習支援にも取り組んでいく。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%で設置主体法人への就職率は93%であった。	法人主催の就職説明会の実施時期が夏季休暇以降のため、就職活動開始時期の検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	定期的な模擬試験や補講を行い、1年次より国家試験合格に向けて取り組んだ結果、2018年度の看護師国家試験合格率は90%であった。	2018年は国家試験合格率が低く、要因として1年次から成績不良者が多く、自主的な学習姿勢が養われていなかった。成績不良学生に対する学習強化が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	クラス担任・副担任が窓口になり学科の教員で支援を行っている。メンタルサポートの必要な学生においては、必要時、法人保健師の紹介を行い、サポート協力を得ている。	専門のカウンセラーの設置はしていないため、今後学生のメンタル状況に応じて、検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績不振学生に対し保護者との面談を行い、学生の状況を把握していただき協力を得ている。必要時電話で状況を伝え、留年決定までに連携を図っており、保護者からの抗議や苦情はない。	個別の対応は実施しているが、全体としての体制はとっていないため、戴帽式等保護者が参加する行事の時に保護者会を開催し現状を伝え連携体制を強化していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。今後は保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上必要な最低限の教育用具は整備されており、随時購入している。校舎は、40年以上経過しており老朽化がみられる。	使用頻度の低い教育用具の管理が不十分であり、どのような教育用具があるのか教員の認識不足が課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めただが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	看護協会を通じて、高等学校の教育事情や就職・進学状況などの情報を入手し、他校と情報提供も行っている。今後は18歳人口の減少に伴い受験者確保に向けて、近隣を中心に高等学校関係者との更なる連携を図る必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	学生募集活動は、事務職員と教員が連携し、教育活動に影響しない範囲で積極的に取り組んでいる。今後はHPも効果的に活用し、学校アピール度を高めていきたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少したが定員は確保できている。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生個人の情報を取り扱うときは、目的を明確にし、必要な範囲内で情報を保ち視診の注意を払っている。患者の個人情報においては、学生ガイダンス、実習ガイダンス等でオリエンテーションを行っている。実習において、誓約書を記載し、周知徹底に努めている。	患者の個人情報に関する記録の管理、守秘義務、SNSの取り扱いについては、実習ガイダンス、学生便覧に掲載。オリエンテーションや機会教育を実施。教員は学生の個人情報に関する情報の管理については取り決めを行っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教育評価(授業評価・実習評価)は実施し、実習においては問題点の改善を行っている。教育活動においては、具体的な問題点の抽出はできておらず、学校経営への意識は低い。	自校の教育活動その他の運営状態の自己点検・自己評価を行い、学校経営の現状の見直しが必要である。教員全員が学校経営への参加意識を持つことが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会医療専門学院 第2看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学案内、ホームページ上で、理念と特長についてを明確にしている。入学後は、早期に教育カリキュラムガイダンスを用いて、説明を行っている。各学年では、機会毎に理念から関連付けて、学生に意識を持たせている。	入学案内、ホームページ上で明確に打ち出しているが、学生や教員全員が共通して、どの科目や行事がそれに繋がっているのかを理解できているかは、確認できていない。理解が深まり、学校全体で目的・目標に向かえるように意識を高めていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目的・目標から各学年到達目標を設定している。入学案内にも、有資格者としてさらに専門職業人としての成長が図れるように知識・技術・感性を高め、社会の動向に対応できる応用力が求められることを掲げている。特に保健・医療・福祉チームの中心となり得る看護師としての役割を意識させている。	教育理念にあるように「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」ために、自ら学び、主体的に行動できる学生であってほしい。また、卒業時には、科学的根拠に基づき、対象に応じた看護が実践できる看護師になれるよう育成したいと考えているが、学生に具体的にどう行動するのかを伝えていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念にあるように、感性と教養を高め、幅広い人間関係と科学的思考ができるように「人間関係論」「文学」「統計学」等を設定している。また、自己学習力や発信力を高めるために、グループワークでの発表を多く取り入れている。実習前には、社会人、医療人としてのマナーを身につけ、実習に臨めるようにマナー教育、看護倫理、医療安全の学習を行っている。学外活動は少ないが、感性を高める目的で文楽鑑賞を取り入れている。	第1・第2・准看護学科、理学、放射の学科があるため、その特徴を生かした科目設定や、演習、学習を取り入れ、学科間の連携を図る。また、地域との交流ができる行事も取り入れ、法人や学校を知っていただきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	現在、通信制教育制度の変更により、2年課程の入学希望者が減少している。その中で、選ばれる学校になるために、准看護学科併設の特徴を生かして、5年一貫教育を打ち出している。今後は、男子学生の募集も考えている。また、地域との繋がりを生かした学校行事や理学・放射科併設の強みを生かした多職種連携教育を考えている。	現行の教育内容の評価ができていないため、カリキュラムの見直しが遅れている。カリキュラム改正に向けて、早期の点検・見直し、検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育方針から学校の運営方針を立てている。毎年年度初めに、科長、主任会議に諮られ、その後各科の教員に方針が伝達される。	年間の運営方針について、各教員が明確に覚えて行動できているか、年度末まで、振り返る機会がないのが現状である。年4回の教務会では、運営方針の確認も必要ではないか。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営方針と教育方針をもとに、各学年担任が年間の学年目標をたてている。前期・後期で目標に沿って進めることができたかの評価を行っている。	各学年のクラス目標に対し、授業、実習、教科外活動を進めて行く中で、目標の達成度を確認していけるとよいが、年度末に目標に到達できているかの確認方法が明確ではない(担任のレポート提出)。評価と分析が行えるように方法を検討・統一していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営にあたり、組織図のもと、教務会、科長会、主任会、その他各種委員会を設置し、科長・主任が中心となり委員会を開催している。学校運営のために、各委員会での役割を遂行すべく、月1回の委員会の中で協議を行っている。	多少の日程変更はあるが、会議と委員会活動は毎月進行している。会議の中では話し合えることが限られているため、その年度内で何を行っていくかの内容の優先度が難しい。社会の動向や看護教育で何を求められているかを情報収集する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校の組織として、学院長、事務長、教務部長、教務副部長、教科科長、主任、専任教員で構成されている。各学年は、担任制を取り、それを補佐する教員を置いている。各学年の運営には、科長、主任が指導・管理にあたっている。実習に関する事項は、主任が役割を担っている。	学科によっては、専任教員の人数により、担任を補佐する教員数の不足がある。授業や実習も学科間で他学科の内容を負担するなど、協力が必要である。その際には他学科の特性の把握や学生の情報を知るための時間が必要となる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	学校内の人事に関しては、教員養成講習受講と未受講の教員の配置のバランスを考えているが、未受講の教員や新任教員が多いことで、学科によって配置が難しいことがある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育カリキュラムガイダンスには、「カリキュラム構造図」と、「各分野の考え方」、「教育目標との関連科目」、「科目構成の概要」、「科目内訳」、「教科外活動」の内容を明記している。	教育課程の編成はできているが、実施方針は明確になっていない。また、各教員の裁量に任されていることが多い。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
3 教育活動	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育カリキュラムガイダンスには、「学年別到達目標」として、教育目標に沿って各学年次の到達目標を明記している。	各学年でクラス目標を設定している。授業、実習、教科外活動を進めて行く中で、目標の達成度を確認していけるとよいが、年度末に目標に到達できているかの確認方法が明確ではない。そのため、評価と分析が行えていない。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿って、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野Ⅰ」「専門分野Ⅱ」「統合分野」「臨地実習」で構成している。各分野の考え方として、どのような学生を育成したいかを挙げ、科目設定を行っている。各授業科目には、シラバスがあり、始講時に学生に配布している。	次回のカリキュラム改正に向けて、早急に教育内容の見直しが必要である。教育理念・目的・目標に沿った科目設定、内容となっているか、重複はないか、を検討していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	初めて担当していただく講師には、講義準備時にシラバスを渡し、内容を確認していただいている。有資格者である学生に対しての程度教授したらよいかという相談もあるため、前年度の学生の意見や反応を参考に伝え、講師と相談をしている。講義開始後にも学生の意見を聞いて、学生の希望している内容を講義していただくこともある。	実習に関しては、毎年調整会議があるため、内容の相談・確認を行っているが、講義については、内容の確認が講師からあった場合のみ調整を取る場合が多い。本来なら毎年講義内容の調整を行い、学生の特性に応じた講義を検討していただくのが望ましい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職業人としての高い知識・技術・感性を身につけ、医療チームの中心となる看護師の育成を目指している。教育内容は准看護師教育からさらに高度な内容を心がけ、各学年目標においても、教育内容や教科外活動と関連して学びが深まるように設定している。	准看護学科での学びが土台としてあるため、さらに応用力や科学的根拠に基づいた看護に繋がれるよう、教育内容を考えている。しかし、科目によっては准看護学科で学んだ内容と重複しているという学生の意見があるため、講師と相談が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に規定された専任教員の数が確保できていない。すべての専任教員が看護教員養成講習会を受講しているわけではなく、教員の経験年数が多様である。	専任教員の確保と教員養成講習会の受講も必要であるが、新任教員が離職せずに定着していける職場環境が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保する努力を継続して行っている。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員には、各自の専門領域の研修に年1回は参加するように、学校全体で取り組んでいる。また、教員も個人的に自己研鑽を年間目標に挙げ、達成に向けて努力をしている。学内でも教員全員参加による年4回の教務会の中で、伝達講習や勉強会を行っている。	専任教員全員が、自分の専門領域の研修に参加することはできていない。また、研修に参加した内容は、報告書として回覧されるが、全員が内容を把握し、理解できたとは言い切れない。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	外部講師、学内教員ともに、2018年度は授業評価が全科目行えていなかった。令和元年度からは、全科目の授業評価を行うように学校全体で取り組みを始めることになっている。	授業評価、実習評価共に実施を進めて行き、外部講師に評価の結果を報告することができるようにしていきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則・成績査定内規により、「単位認定」「学習評価」「追・再試験」「臨地実習評価」等の科目履修許可及び卒業に関する必要事項を定めている。また、留保された科目についても「認定試験」として規定を定めて運用している。	各科目の出席状況は、学生と共に把握しており、時間数不足で単位に影響が出ないように管理している。年度末には、進級判定・卒業判定として成績査定内規に沿って成績を出している。時間数の確認は自己管理と言っているが、学生の意識としては低く、未だに教員からの警告が必要である。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年で行った行事、学習、実習については、学内で発表や報告会を行っている。クラス内だけではなく、他学年の学生も報告会に参加し、双方に学びや刺激となり、共有ができています。	学習や実習の成果は、学内で学生、教員のみで発表を行っている。実習指導者にも参加していただくと、学生の学びや振り返りを知っていただける機会となる。また学内のみでなく、外部に向けて学びを発表していけるように看護研究について、教員も意識を高めていく。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師免許を取得するにあたり、教育課程の中の各分野で、何を学習するのかを入学時から学生に説明している。教科外活動や各実習においても、目的・目標があり、その都度何を学んで、最終的に各自が目標とする看護師像に近づけるのかを意識させている。	入学時の教育課程の説明時に、専門職業人として、准看護師教育の基盤の上に高い知識・技術・感性を身につけることの必要性を伝えている。学生は、各科目の必要性や実習での学びを繋げて考えることができているのか、学期及び学年ごとに意識の確認が必要である。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験対策は1年次から行い、本格的に模擬試験に臨むのは2年次からである。模擬試験の結果を振り返り学生の弱点、得意分野を把握し、学習課題を取り入れている。学習成果の上がない学生には個別面談を行い、学習支援を行っている。	国家試験対策は1年次から始めているが、学生の意識として低いのが現状である。本格的に集中した対策に入るのが、3年次の実習終了後の12月であり、学生の不安も大きくなっていく。学習面だけでなく、精神的サポートも教員間で統一していく必要がある。既卒者に対しても連絡を取り、合格できるように可能なサポートを行っていく。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	准看護師免許を有している学生であるため、各施設で業務を行いながら、その施設での奨学金制度を受けている。卒業後は奨学金貸与施設への就職が多いが、実際に卒業時に就職先が決まっていなかった学生も数名いた。年齢が高く、就職が困難な状況はある。	法人から打ち出された、今年度の学生就職の目標は第2看護学科で5名となっている。教務部長より、就職に関する面談が前期に行われるので、継続して実施し、就職困難者を出さないようにする。就職先が未定の学生には法人への就職を検討するよう働きかけを行う。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	2018年度国家試験合格率は93%であった。不合格となった卒業生には、定期的に連絡をし、学習状況の確認を行っている。また、国家試験対策についての情報を伝え、模擬試験問題を提供することで、次年度の合格が確実にできるように支援している。	2017年度国家試験合格率は100%であった。2018年度の合格率が低下したため、原因と対策、課題を明確に打ち出している。合格率を上げて100%に近い状態に回復させるために、各学年での国家試験対策を強化していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年とも新年度の5月に個別面談を行っている。担任より学生の状況報告が科長にあり、学科会議でも、報告があるため学科教員全体で学生の情報は共有できている。学生には入学時に、法人の担当者にカウンセリングの相談が行えることを伝えている。	法人でのカウンセリングを希望する場合は、教員にも報告する必要はないとしている。そのため、相談の実態は把握できていないが、学内で気になる様子の学生がいるときは、教員から声をかけ、相談しやすい環境を作ることが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学科の行事としては少なく、学生が有資格者であり、自立して生活している者が多いため、保護者との連絡、連携は少ない。成績に関することや、進級に関することがある場合は、受験時の連帯保証人にあたる人物に連絡をとるように統一している。	学科として保護者会を行う予定はないが、保護者からの苦情が多くなっている現状では、今後検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。今後は保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教室の環境は40人対応の広さである。パソコン等の機器類は各クラスに設置しており、視聴覚教材は整っている。看護教育に必要な設備・用具は最低限揃っているが、物品の古さや使用頻度の少ないものが多い。建物自体も築年数が経ち、老朽化している。	2017年の指導調査時に、設備・備品点検を行った。指定規則上必要な物品は揃っているが、老朽化している物が多く、型も古くなっているため、定期的に点検を行い必要な物は購入し直すようにする。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大阪府看護協会主催の研修会等に積極的に参加し、他の准看学校と情報提供等を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校生徒の高年齢化と、通信制養成校の躍進により、受験生の減少が著しく、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少しているのと、合格者の入学辞退が多かったため、目標の入学者32名の確保ができなかった。	准看護学科生徒の高年齢化と通信制進学コースの躍進により、目標入学者数を確保するのが非常に困難な状況である。男子学生受け入れの検討をしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習に関する個人情報の遵守は、各実習前オリエンテーションで説明を行い、誓約書を記入、持参して実習に臨んでいる。個人情報を守れなかった場合の懲戒処分についても学則、実習ガイダンスに記載したものを説明している。	実習に関する個人情報については、大きな情報漏洩もなく、遵守できている。実習記録や個人情報遵守に関しては、現行のまま継続していく。学生同士のSNSでのトラブルについて、学則で規定を定めているが、学生の意識としては薄いため、年度初めに各学年に注意を呼びかける。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価については、学校の体制が 整い、2018年度の評価から始めること ができた。授業評価についても今年度 から各授業の評価を行っていくことに なり、進めている状況である。	自己点検・自己評価については、学校 全体で各科同時に行えるように体制 が整った。初めて行うものであり、気 付いていない点や、改めて知ることが あり、教員全員で自校の教育の共有、 見直しを行う必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会医療専門学院 准看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念および教育目標を定め育人材像も含め入学後のガイダンスでも説明をしている。	養成所指定規則、ガイドラインに沿って、理念、目的、育人材像は定められている。教員や学生への周知も行っている。2022年のカリキュラム改正までに社会が求める看護専門職の育成に見合った目的、人材像の文言を見直していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護の専門職として求められる専門知識、技術を身につけていく人材育成に努めている。また、チームの中で協調性を持ち助け合っている仲間意識を重視している。卒業後、現場で実践できるというニーズに応えている。	100%の資格試験合格者を維持している。専門的知識・技術を身につけ、医師、歯科医師、看護師の指示のもと診療の補助技術と療養上の世話ができる実践力のある准看護師、チームで働くことができる准看護師育成、さらに看護師への進学率を上げるには教育力の強化が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教職員での理念を周知し教育活動の取り組みができるように努力をしている。豊かな人間性では国語・英語・倫理を基礎として感性を育む科目を取り入れている。	理念にある「豊かな人間形成」の育成については科目構成の他、教科外活動にも力を注いでいる。今後は清恵会グループの特色を生かし、実習や講義内容を充実させていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年齢層が広く10代～50代までの学生がいるクラスであり、目的意識も高く社会人を経験した学生も多くいるため考え方が多様である。様々な生活背景にもかかわらず学べる学習環境である。	准看護師養成所の減少に伴い、卒後准看護師が活躍できる場を考慮し、これからの准看護師教育の将来構造を明確にする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	運営方針については、教育理念に沿った教育目標を基に、学校運営方針を定めている。毎年年度末の教務会議で報告を行っている。教務会議は、毎年テーマを決め、年3回報告を行っている。	運営会議で運営方針が定められ、運営目標、事業目標の達成度について毎回報告を挙げている。運営会議での決定議案は、随時、教員全体へ伝達するようにしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年度初めに、学校運営方針を立て、それを基に各学年担任が前期・後期の学年方針を立てている。前期・後期で計画を振り返り、方針の修正を行い年度末には総括を行い評価をしている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められる。運営会議、科長会、教務会で、教員全員の周知を図り、それぞれの業績目標に結びつくよう、学科長が面接を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を開催し月に一度全学科全学年の状況共有している。法人からの指示や方針を伝達し調整している。	国家試験対策、業務改善、実習開発、広報などの委員会活動を実施し、年度末に委員会報告を行っている。教育の質向上に向けた伝達講習会を実施しているが、教員のラダー教育の整備は必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を開催し学院運営会議からの指示および実務の調整を行っている。各学年に担任制を取り入れ教員の配置をしている。	指定規則に準じた最少人数の教員は確保されているが、学生の多様化に伴い教員の負担は年々大きく、今年度より実習指導教員を配置。また精神的に不安定な学生も増加しており、担任の精神的負担は大きい。今後スクールカウンセラーの配置検討も必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規定に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより各年次の教育内容、実施方針を定めている。	教育課程の編成、実施方針を定めているが、社会の動向や学生層も年々変化しており、教育課程を見直す時期に来ている。2022年のカリキュラム改正に向け、今年度は評価に取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則内規により各年次の科目履修規定を設けている。学科目に対しては、評価点の基準を設けている。	修業年限に応じた教育到達レベルは明確にしているが、達成度を評価する指標がない。授業や実習評価については現在基準を見直しているところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に沿って構成している。その中の科目立てでは、教育目的・目標に沿った科目を組み入れている。授業科目については、シラバスを作成し、授業の始講時に学生に配布している。	現行の教育課程に基づいて講義や実習が行われているが、入学生の社会的背景や学習のレディネスを把握し、学生の能力に応じた教育課程の編成は必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。科目の中の講義内容については講師の意見なども取り入れ、講義に組み入れてもらうこともある。	資格試験の出題傾向や実践の場での新しい情報を収集し、担当講師と相談しながら講義や実習を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格試験の修得、専門職としての自己研鑽という観点で学生への学習の促しは実施できている。職業人としての自覚や態度を身につけるキャリア教育については、各実習において学ぶことが多い。戴帽式など学生がそれぞれ役割をもって練習をすすめる。また、お互いの意見を出し合いながら協力し、一つのものを作り上げていくことは、将来看護師という職業にとって重要な体験となっている。	専門的知識・技術を修得し、段階的に科目や実習を構成している。職業人としての責任と自覚、倫理的行動を身につけるための卒後教育も今後必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。専任教員は、看護教員養成講習会の受講を終了している。	科長1名、主任1名、教員4名のうち、未講習の教員は1名。さらに、実習指導教員2名を配置。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員が全員年3回の教務会の課題に取り組んでいる。年1回以上は、研修会に参加し自己研鑽を行い資質向上に取り組んでいる。	個人の自己研鑽への意識は高く、時間を作って外部の研修会に自主的に参加している。研修での学びの伝達、共有を行い、教員全体の教育力の強化も必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校職員による講義・演習については授業評価を実施している。また外部講師についても実施を行っている。担当講義科目の終講後に学生全員を対象として講義アンケートを実施している。	学生アンケートによる授業評価は実施しているが、実習評価は遅れている。各教員が、積極的に他者の意見を取り入れ、自己の課題分析ができ、タイムリーに他者に公表または上司に提出することを習慣化する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則に基づき規定の出席率を満たしたものが評価を受ける資格があり、学科試験、実習評価を受け、一定の評価以上の成績にて合格判定をしている。	成績評価・修了認定基準を明確化し、基準に基づいて運用している。判断に迷った場合は教務会議に諮り検討している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2年時に事例学習のまとめ発表を行い教員が参加し学びを共有している。1年生も参加することで、意識を高めることができる。	1年次では看護技術試験、最終学年では事例発表を実施している。今後は実習報告会など成果を発表できる時間を確保し、学びを共有できるような授業形態やカリキュラムを見直す必要がある。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする准看資格取得にむけて1年次より努力を積み上げていくことや日々の学習を大切に学んでいくことを常に教員が語り、実習と資格試験を結び付けて学習を進めるように意識づけしている。	准看護師の資格、免許については、カリキュラムガイダンス「学生便覧」に掲載しているほか。看護概論の科目でも押さえている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする准看護師資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より資格試験対策を行っている。低学年模試を行いその結果をふまえて、学習の動機づけをする。2年次では資格試験問題集を活用し、実習とリンクしながら計画的に学習を進めていく。模擬テストも3回実施し、個人の学習到達状況を把握し資格試験対策を実施している。	定期的に模擬試験を実施し、資格試験対策教員が中心となり個別に応じた学習指導も実施している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	設置主体法人の奨学金制度がある。6割程度の学生は関連施設に就職をしている。。その他は、関連施設以外への就職をしている。	年々就職率は低下しているが6割程度は確保。就職はするが進学しない、就職せずに進学する学生もいる。経済的な事情や家庭環境により仕事と学業との両立が困難な学生も多い。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2018年度准看護師資格試験の合格率は100%である。	創立以来、資格試験合格率100%を維持している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、准看護師資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。准看護師資格試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談についてはクラス担任が行い、内容によっては教務科長が行う。	家庭環境や子育て、人間関係についての悩みが多く、担任が年2回、定期的に面接しているが、時間の確保も難しく、担任の精神的負担は大きい。今後スクールカウンセリングの配置も視野に入れておく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。大阪府育英会や授業料支援補助金等の申込み事務手続きの支援も行っている。	法人の奨学金・学資金制度に9割程度の学生が申し込んでいる。その他、市の補助金制度の活用などで学費を賄っている学生が年々増加。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績低迷な場合や学校生活で問題のある時は、保護者に連絡を取り保護・学生との三者面談を行う。戴帽式の時には、保護者へのご挨拶を行い、学校生活への現状と理解に努め協力をお願いする。	成績低迷な学生は、早期に保護者に連絡し3者面談を実施。戴帽式後の保護者会や成績の送付など保護者との連携体制も検討中。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。今後は保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	40人クラスで教室は設置されているが、かなり窮屈である。准看護師養成に必要な施設設備・用具については最低限以上のものに整備している。校舎が古いため雨漏りもあり老朽化があり、地震等の耐久性も十分とは言えないために送球の対策が必要である。	教室の温度・湿度の微調整ができないこと、ネット環境が整っていない、学生食堂がない。実習ベッドやモデル人形、模型、看護用品、看護雑誌などは指定規則通りの定数は確保できている。年1回点検し、必要に応じて修理・新規購入している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率により、受験生の高齢化が進むと予想される。在学生在が高齢化すると進学率が下がる傾向があり、この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少したが定員は確保できている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の個人情報保護として、成績の結果などは配慮している。また、実習においては具体的なオリエンテーションを行い誓約書を記載しその中にも個人情報に関する内容が含まれる。実習における患者情報については、実習施設に依頼し、持ち出し管理を行っている。	患者の個人情報に関する記録の管理、守秘義務、SNSの取り扱いについては、実習ガイダンス、学生便覧に掲載。オリエンテーションや機会教育を実施。教員は学生の個人情報に関する情報の管理については取り決めを行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の遵守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検評価はやっと実施に至ったところである。問題点については、随時改善していくように取り組んでいく。	自己点検評価は、管理者のみで実施していたが、今後は教員全体で役割を分担し、取り組んでいく。今年度は、HPに公表することを目標にすすめている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院 理学療法士科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念および教育目標を定め、学内掲示スペースに表示している。	アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明文化の必要あり。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	現場ですぐに使える人材という観点で、卒業後すぐに現場で患者様に理学療法を実施できるというニーズに応えている。	技術・知識・態度の3つの観点から教育し、特に就職先からのクレームはない。今後、生涯学習という観点から、アカデミックな領域での活動も必要であるため、卒前教育においても取り入れる必要あり。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教職員において、理念などの周知が不十分であり、教育活動の取り組みに直接反映されていない部分もある。	少人数制授業、同法人施設を利用した実習など、職業人育成に充分に取り組んでいる。今後、卒前・卒後の教育をシームレスに繋げていくために、より明確な目標設定が必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	育成すべき人材と、入学学生の状況を把握し、育成に必要な学習内容を柔軟に変化させている。	地域医療で活躍するために、2020年4月からの新カリキュラムにおいて反映させている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。放射線技師科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランは、定め、共有している。	月1回の運営会議を開催し、各科の状況の報告、理事会の報告は適宜行われている。また、運営会議の内容は、教務会で共有している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランは、定め、共有している。	事業方針は、各科の目標設定に落としこみ、それをもとに各教職員が年間目標を設定する。尚、中間と期末で達成度を確認し、次年度に向けて調整している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を開催し、月に一度、全学科全学年の状況共有している。法人からの指示や方針を伝達し、調整している。	学院長、事務長、各科教務部長は縦・横の繋がりはできている。しかし、監督職間のつながりが不十分だと思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を開催し、学院運営会議からの指示および実務の調整を行っている。また、各学年に担任制で教員を配置し、2名体制をとっている。	教員の入れ替わりがあり、教員暦の浅い教員が2名。その分、教務会の回数を増やすなど情報共有を徹底している。しかし、担任どちらかが知らない場面はみられるので、担任間の連絡共有が必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより、各年次の教育内容、実施方針を定めている。	教育のアウトカムを明文化していくことが必須。その中で、シラバスの内容を確認する。重複項目、抜けている内容がないかを確認する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則内規により、各年次の科目履修規定を設けており、単位修得について評価点の基準を設けている。	点数だけになっており、具体的な像を明文化できていない。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	科目内容に加え、学生の態度・姿勢について逐一指導する体制で、卒後の臨床場面で求められる能力を備えられるよう、編成している。	目標達成という観点で、入学生の状況変化により、相対的に高い水準になりつつある。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の評価認定審査を受け、自己点検評価報告書を受領している。	自己点検評価報告書を元に改善策を考慮し、部分的に実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	国家資格の修得、専門職としての自己研鑽、という観点で、学生への学習の促しは実施しているが、実社会でのキャリア教育はできていない。	入学生の能力を踏まえると、定期試験対策、国家試験対策で限界のようにみえる。そのため、本来、学習活動としてやっていきたい内容には届かない。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理学療法士養成施設指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教員研修規定において、職務遂行にあたり必要な知識技能の修得および向上を目指すよう、定めて取り組んでいる。	外来診療における臨床活動、日本PT協会の認定・専門PT取得などは積極的に取り組んでいる。今後、研究活動への取り組み必要。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学内講師に限るが、担当講義科目の終講後に学生全員を対象として、講義アンケートを実施している。	学生によるアンケート調査を実施。集計し、満足度と相関のある項目を抽出し、分析している。分析結果を各教員にフィードバックを行い授業改善に役立ててもらっている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績において、単位基準や各種試験での合格点、履修条件(次年次)を定め、入学時にオリエンテーションを行っている。また、各年次開始時にも、オリエンテーションを行っている。	点数は提示している。今後の課題として、どのようなことができることが目標なのか、アウトカムを提示していく。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	授業において課題を提示しグループワークをさせ、発表する授業が増えている。また、実習終了後には、個々で振り返りをさせることで、課題を明確にさせている。それらを発表させ、在校生、教員は聴講し、成果の確認を行っている。	オープンキャンパスにおいて、学習内容紹介という形で、成果の発表会の実施を検討する。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	専門職の養成、人間形成という観点で、常々学生に明示し、免許取得と実務をできる人材育成を公然の目標としてる。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする理学療法士国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	国家試験の合格を目標におき、授業科目を4科目設定し、国家試験対策教員を配置し、継続的に学生指導にあたっている。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	理学療法士国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	就職率は100%であり、施設からの求人票受け入れについては、翌年に新年度用の求人票ひな型を送付している。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	入学時より資格修得を常に心がけさせ、国家試験受験時には、全員が一丸となり、合格を目指して受験する。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、理学療法士国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	少人数制の利点とし、常に学生に目を配り、相談しやすい環境を提供している。	環境づくりを行いつつ、学生の自立を促すため、依存的になりすぎない様な適正な距離感の取り方を常に模索し、対応している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	稀ではあるが、病院からの奨学金の案内がある。その都度、学生へのアナウンスを行っている。(掲示)	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の行動や学業で問題が発生した場合、処分対象になる以前に連絡し、自宅での様子や学習状況を確認している。状況により、再度連絡、保護者面談を実施している。	保護者会など定期的な集まりが必要。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	養成施設指定規則に準じ、不測の無いように整備している。また、指定規則の数量では、実使用しにくい物は学生の使用に耐えうる数量を用意している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大学等養成施設の飽和状態という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少したが定員は確保できている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の個人情報保護として、成績表や単位修得結果の掲示には配慮している。また、実習における患者個人情報については、実習施設に依頼し、持ち出し管理を行っている。	実習施設側の個人情報管理が学校の指導方針とそぐわない場合も存在しており、今後徹底が必要となる。学生個人の情報については、学生個々に確認を取りながら、講師や実習指導者に提供している。今後、保護者の同意も必要と思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検評価により確認してい る。問題点に関しては、随時改善 するように取り組んでいる。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院 放射線技師科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念/特長としてホームページ上にも掲載しており、理念に基づいての人材育成を行っている。また、目的は学生便覧に記載している。	本学院の理念は、母体である法人と共有するもので、学院創立の源である。これを元に目的を定め、日々の教育の中に生かしていくことが求められると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生便覧に「専門知識及び技術を習得し応用能力を養い人間形成に努め優秀な医療技術者を育成」と記しており、感性豊かな人材と医療・福祉に貢献出来る人材育成を重視している。	専門的知識と技術が習得出来るように、臨床現場で活躍中の講師や母体である病院を活用して、学習者自身の主体的な意欲や探究心を高められる様な取り組みが必要と考える。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	豊かな人間形成を目的に、心理学、臨床心理学、倫理学(生命倫理学)を科目立てしている。また、同グループの看護学科と理学療法士科から講師を迎え、基礎看護介護学や機能解剖学等の特色ある学びの場を設けている。	同じ医療職である他職種学科の学びを知る機会を設けることで、様々な視点や考え方を学ぶ場を提供しているが、狙い通りに学生に伝わる事が出来ているか振り返りの機会も必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	4年制大学の新設校が増加傾向にあるが、本学院1部では3年で免許取得が可能であるという点と、2部は夜間コースのため働きながら免許取得を目指す事が出来るという点で、大学とは別のニーズがあると考えている。	大学卒業者や社会人経験者がより学びやすい環境を整えること。また、臨床実習以外にも母体の清恵会病院を学びの場としてもっと活用していく必要があると考える。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。理学療法士科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念をベースに、1年間、更には5年間の目標を定め取り組んでいる。学院全体となる学院運営会議を月1回開催し報告と確認を行っている。	5年後までの定量目標や具体的な指標を決めて取り組むも、具体的な数値を交えて、放射線技師科における教務会議の場でも確認する必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	5年後までの目標値をベースに、各科が評価指標を定め、更に個々の教員の目標にまで反映させ取り組んでいる。	放射線技師科の年間目標をベースに、各学年担当者がクラスの特徴も踏まえて取り組んでいる。しかしながら、未達の目標へ更に踏み込んだ取り組みも求められる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各科教務部長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院運営会議の下に、放射線技師科における教務会議を設け、月1回開催し、情報共有や報告を行っている。今後も、このペースで継続していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長をトップに事務長、教務部長、教務科長、教務主任、担任、副担任、教務事務で構成している。また、進路担当、臨床実習担当を配置し業務に当たっている。	教員の組織体制は整っているが、経験年数の少ない教員や、昼間部と夜間部の連携等、サポート体制の更なる充実を図る必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については、設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	学院職員人事は、法人人事とも深く関連するが、専門学校の指定規則に則って配置されており、個々の能力向上を図りながら3年後5年後の先を見据えて行っていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程の編成は、学生便覧に明記している。教育理念に沿った具体的な取り組みにおいては、教務で理念を共有しながら取り組んでいる。	実施方針は、教務会議の場で確認しているが、実際に教育反に映されているのかの具体的な確認作業が必要であると考ええる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	放射線技師科の目標をベースに、各学年担任が目標とその指標を定め取り組んでいる。	前期・後期で各担任によるクラス状況の報告と、指標と達成度の見込の確認を、教務主任と教務部長による面談を通じて行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に従って基礎分野、専門基礎分野、専門分野で構成されており、その中に当学院独自の科目も組み込んでいる。また教科外活動という時間を設けて座学以外の勉学の間も設けている。	ここ数年、必要に応じてカリキュラムの一部変更等も行い対応してきた。数年後に指定規則の変更によるカリキュラムの改訂も見込まれており、更なる特色ある科目立てを考える必要もあると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。国家試験科目においては、学院の要望と外部講師の意見も反映して行っている。	専門科目においては、常に最新の情報が講義に反映されるように、今後も工夫を凝らしていく必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学年次におこなっている学院卒業生による教育講演、実習前の接遇教育、学会参加等の機会を設けて対応している。	必ずしも十分とは言えないため、母体の病院を活用して、病院見学や入門実習的な機会を増やす事も考える必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師養成所指導ガイドラインの教員に関する事項に定められている要項を満たした専任教員を確保している。	本学院の専任教員は、規定以上の臨床経験を全員が有している。専門以外の講師も文科省の定める条件を満たしている。必要に応じて、規定数以上の教員配置も今後考える必要があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員は様々な研修会、学会等に積極的に参加しており、関連資格の取得も含めて資質向上に取り組んでいる。	担当科目の専門性を高め、講義に反映できる取り組みを行っているが、勤務態勢を見直して更なる柔軟な体制作りも今後必要と思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。しかし、取り組みを行っているのだが、研修会や学会に参加しない教員がいることが課題である。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	専任教員の講義では、リアクションペーパーでの授業の感想を元に授業内容の見直しを行っていたが現在は中断している。また、外部講師の講義内容は科目によっては一任している。	今後は専任教員、外部講師共に授業評価がおこなえる方向に向けて進めていきたい。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教務会議を行う等授業評価を実施していないわけではないが、リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則に基づき、定められた授業科目履修規定により、筆記試験、レポート提出等により、基準を満たし者について単位認定を行っている。	前期終了時と学年終了時に成績を送付している。また不合格科目の多い学生には再試験前に指導を心がけている。今後は、不合格にさせない為の取り組み方も考えていかなければならないと考えている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	臨床実習前に、班ごとに勉強した成果をクラスメイト、専任教員、また臨床実習施設指導者を交えた中でスライド発表として行い、採点を行う等の取り組みを行っている。	今後は、可能であれば下級生等の参加も考えてみる必要があるが、多人数の入る教室等がなく今後の課題といえる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院での最終目標は、診療放射線技師免許の取得であり、国家試験を意識した授業内容を行うよう取り組んでいる。	1年次から最終学年次まで1科目も無駄な科目など無いと言うことを認識させ、積み重ねの大切さを理解させるような術の検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする診療放射線技師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	最終学年では7月以降、留年生では4月以降、毎月国家試験模擬試験を実施し、個々の学習到達状況を把握し、国家試験に向けた対策につなげている。既卒者の受け入れも行っている。	国家試験への対策は最終学年からが本格的な指導となるが、昼間部生は前期が臨床実習となるため、現在2年次後半からの対策も必要と考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	本校は就職率100%を維持している。	長年就職率100%を維持し続けているが、大学3年次編入学という進学への指導も積極的に行っていきたい。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	2018年度の診療放射線技師国家試験の新卒合格率は78.3%であった。	2019年度は90%以上を目標に、更なる指導を行う必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、実力試験の実施等、診療放射線技師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携を強化し、全教員で取り組んでいただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時や新学年次始めに、必ず担任が面談を行いコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りに取り組んでいる。特に相談件数の多い就職の相談においては、放射線技師免許保持の教員全員が対応可能である。	放射線技師科は昼間部と夜間部があることから相談時間も限られる場合もあり、全教員が必要に応じて相談に応じれる体制が必要で、情報共有も密に取る必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。夜間部生に対しては、医療現場での仕事の紹介も行っている。	希望者全員に病院(医療現場)での仕事を斡旋出来ないところが課題として上げられる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時の個人面談時に、可能な範囲で家族のことや学校からの連絡先や連絡相手の確認を行っている。成績や学院生活等で必要に応じて連絡を取り合っている。	特に今まで大きな問題は生じていないが、国家試験に対する自宅学習時の指導等、密な連携を要する学生もあり、対策を図る必要も今後生ずると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師養成所指導ガイドラインで定められている、教育上必要な機械器具、標本及び模型を整備している。	開校当初に揃えた用具や機器は古くなったものも多く、今後は用具や機器の更新の必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されているが、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	18歳人口の減少、2019年入試では医・薬といった資格系が不人気とのデータもあり、今後更なる情報提供が必要となると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学 生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大阪府内養成校(専門学校)1校の増設という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。その中でも特に2部(夜間部)の定員確保は非常に困難な状況であり、将来的に2部(夜間部)をどのようにしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少し、定員を確保できていない。特に2部(夜間部)は大きく定員に届かなかった。	今年度夜間部の定員割れが生じたことから、夜間部におけるAO入試を社会人向けにわかりやす広める必要性があるのではないかな。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財 務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時に学生便覧に基づき、SNS規定等しっかりとオリエンテーションを行っている。また、臨床実習前にはガイドブックを用いたオリエンテーションと同意書の提出を求めている。	学院内における情報の取扱、臨床実習時の患者情報の取扱、電子記憶媒体の取扱など、事あるごとに必ず全員に伝わるようにする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員個々が年間計画を立てて4 月、10月、年度末に自己評価と教 務部長、教務主任と面談を行って いる。	個々の問題点を教務の問題点とし て、教職員全体で共有し改善に役 立てる必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。